

～SNS～

指導上の留意点

近年、SNSを利用する人が増え、それに伴い金銭・身体被害のほか、コミュニケーションや情報漏えいに関するトラブルも増加している。SNSが人とのつながりを活性化する便利なツールであるとともに、悪意のある人にもつながるリスクのあるツールであることを知り、システム面でもセキュリティ対策を行うとともに自分自身もリスク回避のために節度ある使用を心がけるといった心構えが必要であることを認識させる。また、いったんインターネット（以下「ネット」という）上に公開された情報や写真は、完全に削除することはまず不可能なので、写真や言葉などは、十分に考慮したうえで投稿することを認識させる。また、消費者市民として、他者への影響を考えた消費行動を実践できる視点をもたせる。

各問についてのポイントと解答例

- 1 教材⑩の①を読んで素直に感じたことや気をつけるべき点を考える。また自分や周囲の人、将来への影響について考える。

解答例

(1)省略

(2)以下のような可能性がある。

①知らない人との出会い：写真を出会い系サイトなどで使われる、相手が犯罪目的の場合は殺害などの危険性もある、家族や友人が悲しむ、恥ずかしい写真が流出したら誰に見られるかわからない など ②写真の位置情報：ストーカー被害の可能性がある、家族に心配をかける など ③フリーアクセスポイント：サイト検索や買い物履歴から関心のあるものについての営業メールが増える、架空請求・ID・パスワードが盗まれるとアカウントを乗っ取られる、個人情報が盗まれるとどのように使われるかわからない など ④問題行動の投稿：退学しなければならなくなる、進学や就職ができなくなる、現在の住居に住めなくなる、友人がいなくなる、いつ誰に指摘されるかわからない など

- 2 教材⑩の②を読み、自分の知らないところで個人情報が一人歩きしたり、自分一人では取り返しのつかない状況になることを理解させ、気をつけたいこと、意識すべき行動などをあげさせる。消費者市民として行動することにより、よりよい社会の形成の一端を担うことを認識させる。

解答例

①知らない人との出会い：安易に知らない人と接触しない・会わない、相手の言うことが事実かどうか考える、写真を送らない、誰が見てもいい写真か投稿時に考える など ②写真の位置情報：普段から位置情報をOFFにする、コメントを入れるときは注意する、位置情報がOFFになっていても個人や学校などが特定される情報は記載しない、友だちに写真を送るときは投稿しないよう伝える など ③フリーアクセスポイント：自宅のアクセスポイントにパスワードを設定する、フリーアクセスポイントを使わない、流出したら困るデータをスマートフォンに残さない、弟妹がゲーム機を使う時に注意を促す など ④問題行動の投稿：現実社会でやってはいけないことはネット上でも（投稿）しない、フォロワーを増やすことに闘志を燃やさない、親に迷惑をかけるようなことをしない、友だちがしづらになったら止める など

※共通：注意点を周囲の人に伝える・警察や消費生活センターなど公的機関に情報提供する など

- 3 SNS やメールでは、言葉の抑揚や表情が伝わらず、勘違いからトラブルになりやすい。若者がよく使う言い回し「かわいくない?」（=かわいいの意、口語では語尾を上げる）を使用したか、「?」を入れ忘れ、文字のため真意が伝わらなかった状況を理解させる。

解答例

Cの言葉の最後に「?」や「!」などがなく、けなしたように見えるから など

用語：アカウント、SNS、フリーアクセスポイント、情報リテラシー、フォロワー
参考用語：デジタルタトゥー、リツイート（RT）